

# 小型船舶に対する 安全キャンペーン実施中

～小型船舶の安全確保に向けて～



No.9

我が国及びその周辺では、毎年2千隻前後の船舶事故が発生し、その7～8割が総トン数20トン未満の小型船舶によるものとなっています。

沖縄総合事務局管内における令和4年の船舶事故は80隻発生<sup>※</sup>し、そのうち小型船舶（プレジャーボート、漁船、遊漁船、作業船、旅客船等）が全体の8割強<sup>※</sup>を占めています。例年、ゴールデンウィーク前から10月頃にかけて事故が多発していることから、当局では、第十一管区海上保安本部、日本小型船舶検査機構沖縄支部などの協力を得て、本年4月17日から8月31日までの間、プレジャーボート・漁船に対するパトロール・訪船指導及び小型旅客船等に対し、各種設備等の状況を確認する「小型船舶に対する安全キャンペーン」を実施しています。



【救命胴衣の確認】



【訪船指導の様子】



【漁協への周知依頼】

船舶を運航する方々におかれましては、積極的に自己点検を行うなど、改めて安全航行に対する確認をお願い致します。  
(※第十一管区海上保安本部の海難発生状況（速報値）から抜粋)

【パトロール活動の主な内容】  
☆ライフジャケットの適切な着用  
(原則すべての乗船者にライフジャケットの着用義務)



① 水上オートバイの乗船者



② 12歳未満の小児（船室内）



③ 1人乗り小型漁船で漁ろうに従事する者



④ ①～③以外の船室外（指定の場所を除く）のすべての乗船者

☆発航前検査の確実な実施や小型船舶操縦者の遵守事項の徹底  
☆船舶検査の適切な受検の確認や案内

・海岸から12海里を超えない水域のみで操業する小型漁船であったとしても、漁業以外の目的（遊漁など）にも使用する場合は12海里以内でも船舶検査が必要であること

☆小型船舶操縦士免許の適切な受有の確認や案内

お問合せ先

運輸部 船舶船員課

☎098-866-1838